

山形：第42回 山形県私学フェスティバル 開催

山形から、11月24日開催の「第42回 山形県私学フェスティバル」の様子が届きました。

山形新聞
Yamagata News Online

県内ニュース

>>山形新聞トップ >>県内ニュース >> 社会

Tweet いいね! 0 シェア

「必要です」私学助成拡充をアピール 山形で県フェス、生徒や教員ら訴え

2019年11月25日 11:19

私学助成の拡充や私立学校の魅力をアピールする第42回県私学フェスティバルが24日、山形市の霞城セントラルで開かれた。書道部生徒によるパフォーマンスや吹奏楽演奏、生徒や保護者、教職員らが協力した朗読劇などを通して、私立学校の現状や助成の必要性などを訴えた。

私学助成を巡っては、2020年4月から国の就学支援金が、年収590万円未満の世帯を対象に大幅に引き上げられる見込み。ただ、590万円を超える世帯は引き続き大きな負担が残るといふ。フェスティバルでは経済的な理由で学びたい場所で学ぶことを諦めなくていいよう、より一層の環境整備に理解を求めた。

セレモニーでは主催する県私学助成をすすめる会の渡辺誠一会長が就学支援金の拡充を歓迎しつつ「私学も公教育という意識に変わってきた」と指摘。集まった高校生に「ぜひ期待に応えてほしい」と呼び掛けた。生徒、保護者、教員がそれぞれの立場で、私学助成のさらなる拡充の必要性について発表した。

朗読劇では、経済的な事情で学業継続に悩む家庭などをモデルに、イメージ画像を交えて現状を訴えた。会場には県内の各私立学校を紹介するブースが設けられたほか、山形市の山本学園高書道部によるパフォーマンス、東海大山形高吹奏楽部の金管七重奏などが繰り広げられた。



山本学園高書道部によるパフォーマンスなどが繰り広げられた私学フェスティバル＝山形市・霞城セントラル